

精神保健福祉論 I

担当教員 茶屋道 拓哉

配当年次 3年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 第1学期

授業形態 講義

単位数 2

【授業のねらい】

- 1 精神保健福祉の歴史と理念、発達プロセスを過去の制度施策・歴史的事実を通して解釈できるようになる。
- 2 精神障害者の相談援助活動と法（精神保健福祉法）との関わりについてその根拠を説明できるようになる。
- 3 精神障害者の支援に関連する制度及び福祉サービスの知識と支援内容について説明できるようになる。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	精神障害者の相談援助活動と精神保健福祉に関する制度とサービス
2	精神保健福祉法の成立までの経緯と意義、その後の変化①精神病者監護法～精神保健法まで
3	精神保健福祉法の成立までの経緯と意義、その後の変化②精神保健法～精神保健福祉法まで
4	精神保健福祉法の成立までの経緯と意義、その後の変化③精神保健福祉法～総合支援法まで
5	精神保健福祉法の概要①法の目的、対象、医療及び保護、保健及び福祉
6	精神保健福祉法の概要②精神保健福祉法における精神保健福祉士の役割（入院制度を中心に）
7	精神保健福祉法の概要②精神保健福祉法における精神保健福祉士の役割（各種サービス）
8	精神保健福祉法の概要③最近の動向
9	精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス①障害者基本法と精神障害者施策のかかわり
10	精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス②障害者総合支援法における精神障害者福祉サービス
11	精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス③精神障害者を対象とした福祉施策・事業
12	精神障害者に関連する社会保障制度の概要①精神障害者と社会保障制度
13	精神障害者に関連する社会保障制度の概要②医療保険制度
14	精神障害者に関連する社会保障制度の概要③介護保険制度
15	精神障害者に関連する社会保障制度の概要④経済的支援に関する制度

【履修上の注意事項】

- 1 期末試験の受験と合格（60点以上 学則参照）
- 2 本科目は精神保健福祉士国家試験における指定科目（精神保健福祉に関する制度とサービス）である
- 3 授業前に当該担当部分についてのテキストを一読しておくこと
- 4 授業後に配布された資料とテキストなどを照らし合わせながら授業の振り返り（復習）を行うこと

【評価方法】

- 1 授業中のレスポンス・ミニレポート30%
- 2 期末試験成績（70%）

【テキスト】

新精神保健福祉士養成講座⑥『精神保健福祉に関する制度とサービス（第6版）』2018年、中央法規

【参考文献】

『精神保健医療福祉白書 2017年版』精神保健医療福祉白書編集委員会編、中央法規